

## 立命館大学技術士会第7回総会【総会挨拶】

立命館大学技術士会の会長の大森でございます。  
第7回総会に先立ちまして、一言ご挨拶申し上げます。

今月1日夜（日本時間2日未明）、バングラデシュの首都ダッカで、悲惨なテロ事件が発生し、日本人7人を含む20人が亡くなられたと報じられております。今回の事件に巻き込まれた日本人は、いずれも人口が急増するダッカの交通渋滞解消に向けたインフラ整備プロジェクトの調査に携わっておられた方々だそうで、その中に日本技術士会名誉会員で現役の機械部門技術士 田中宏氏 80歳 もおられました。同じインフラ整備に携わる者として、犠牲者のご無念を考えると、深い悲しみに堪えません。心から哀悼の意を表します。

また本年4月には、熊本地震が発生しました。被災された方々は今でも大変な思いをされておられます。心からお見舞い申し上げます。

さて、今回の熊本地震、昨年の関東・東北豪雨と、自然災害が頻発する日本では、「持続可能な社会の安心・安全を築く」という意味で、技術者がやらなければならないことはまだまだたくさんあります。

また、最近、杭の支持力問題や施工不良、軽自動車の燃費偽証などの品質問題や、新名神高速道路工事における橋桁落下などの人為的な事故も目につきます。

今こそ技術と倫理に長けた技術士の活躍が期待されていると言えます。

そして、これらを考える上でも、世間で言われている「担い手確保」が本当に重要だと考えます。将来を見据え、次世代の技術を担うしっかりとした「人」を育てていかなければなりません。

その意味で当立命技術士会では、学生へのキャリア支援としての「技術者・技術士の職務と役割」の講義や電子書籍「土木、この素敵な世界！」の発刊、また、技術士試験受験講座等を継続して実施してきました。

我々の活動が世の中に何らかの形で貢献できていると自負しており、これからも継続していく所存でございます。

さらに、本日もこの総会後に、歌先生、宗本先生にご講演いただくのですが、この講演会や交流懇談会での会員諸氏からの技術報告会とあわせて、今後、会報を復活させて、会員の皆様の活動や研究報告等を掲載することで、会員相互の幅広い交流へと繋げていきたいと考えております。

安心・安全の確保は、我々技術士が担うべき大事な役目との認識を持って、立命館大学技術士会会長として務めてまいりたいと思っております。

皆様の更なるご支援をお願い申し上げます、私の挨拶とさせていただきます。